



3学期もいよいよ終盤です ～有終の美を飾ろう～

「雨水」を過ぎ、これから「啓蟄」、「春分」と、どんどん春に向かって季節が進んでいきます。3学期も残り1か月を切り、いよいよ進級・進学が目前になりました。6年生は中学校教員による出前授業や学校説明会がありました。

1～5年生は、3月初めに予定されている6年生を送る会の準備に、余念がありません。きっと、6年生の思い出に残るような行事になることでしょう。進級・進学という、学校生活で最も大きな節目であるこの時期には、学習面でも生活面でも、子どもたちが自身の成長や課題を振り返り、新たな目標をもち、何をやっていけば、それを実現させることができるかを具体的に考えるよい機会です。



先日今年度最後の参観日を実施しました。たくさんの保護者やご家族の皆さんにご来校いただき、ありがとうございました。1年間に学んだことの発表、歌、ダンス、グループ活動、実験など、いろいろな形式の授業をご覧いただきました。表現力やコミュニケーション力の成長を感じる場面が随所に見られました。これから、卒業式、修了式に向けての1か月、子どもたち一人一人が学年のまとめをして、有終の美を飾ってほしいと思います。今後とも、ご家庭でのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



劇団四季観劇（6年生）



陶芸教室（4年生）



授業参観日（3年生）

「非認知能力」と「認知能力」

非認知能力という言葉は、耳にされたことのある方が多いと思います。最近、国内だけでなく世界でも注目されている能力です。漢字や計算などとは違い、数値で計ることのできない人間的な力のことで、創造力、向上心、探究心、粘り強さ、協調性やコミュニケーション力などが非認知能力に当たります。社会情緒的能力とも言われます。今、世界で生じているさまざまな問題や、これからの予測できない事態を解決したり、豊かな生活を送ったりするために必要とされ、幼児期から思春期の間に伸びるのだそうです。子どもが興味をもって取り組んでいることや、がんばっている過程を応援したり、失敗しても前向きに受け止めたり、子どもが自分自身で決める機会をもつなどによって伸びるのだそうです。学校の教育活動でも、身近な物や自然の事物を用いた工作、体験学習、スポーツや遊びなど、非認知能力を伸ばす場面は数多くあります。認知能力と合わせて育てていきたいと思います。

